

=====

本メールマガジン[NEE Mail Magazine]は、経済教育ネットワークより会員の皆様にお送りしております。

=====



◆ NEE Mail Magazine 111号 ◆

-----2018-4-2◆◇

四月、卯月、新年度、新学期です。今年は、春の訪れがはやく、関東も関西も中学や高校の入学式にはすでに桜が散ってしまいそうです。3月末には高校の新学習指導要領が告示され、教育界は、桜の開花がはやまったように、一斉に走り始めています。次に向けて走るのは、結構なことだろと思いますが、出発の季節だからこそ、あまり前のめりにならず、本当に次の時代の教育に大事なことは何か、ちょっと立ち止まって考えることも必要かもしれません。

新学期の今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

-----

【 1 】最新活動報告

18年3月の活動やニュースを報告します。

【 2 】イベントカレンダー

部会の案内、関連団体の活動などを紹介します。

【 3 】授業のヒント「思考実験のすすめ」

-----

【 1 】最新活動報告

-----

\*18年3月に行われた活動を報告します。(開催順)

■年次大会(シンポジウム)を開催しました。

日時:2018年3月17日(土)13時00分~17時00分

場所:京都学園大学 太秦キャンパス

テーマ:「中・高の新学習指導要領を経済教育から解剖する」

参加者:52名

内容の概略:

(1)野間克敏先生(同志社大学総合政策学部教授)による主催者挨拶のなかで登壇予定の橋本康弘先生が都合により出席できず、新井(上智大学非常勤講師)が代理を務めることが紹介されました。

(2)第一部 パネルディスカッション 中学校の学習指導要領

新井から、「中学校の新学習指導要領を解剖する」が基調講演として行われ、昨年2017年夏の「経済教室」で行われた橋本先生の講演の内容のまとめと、それを踏まえた問題提起がありました。

1) それをうけて、中沖栄氏(清水書院編集部)から「学習指導要領をどう読み解くかー教科書編集の現場からー」の問題提起がありました。

中沖氏は、教科書と一般書の編集作業の共通点と違いから説明し、学習指導要領を読み解いて教科書を作るプロセスに関しては、特に、指導要領との関係では、学習指導要領本文や解説の指示をどう読み解くのか勝負となると指摘され、それを教科書本文の1000字に書き込み、書き込めない部分は紙面のどこかに取り扱っているという教科書編集のノウハウを紹介されました。

教科書は主たる教材であり、教科書の内容をすべてこの通りに教えるべきものとして作っているわけではないから、先生の授業をサポートする相棒として位置づけてもらえることうれしい、と話をまとめられました。

2) 次いで、兼間昌智先生(札幌市立東栄中学校教頭)が、現場教員の立場から、新学習指導要領のポイントと、実際の授業例はどんなものかを紹介されました。授業例では、需給曲線を理解させたくて、閉店間際のパン屋さんが値引きするのはなぜかをグラフを使って説明させ、そこから、東日本大震災と市場経済というテーマでの探求学習に取り組みせる授業を紹介されました。

兼間先生は、この授業は、対立と合意、効率と公正、希少性などの概念をつかって考えさせる点、個人の尊重、協調、持続可能などの概念も登場する点、確かな根拠をもって判断させることが求められていること、かつ生き方を問う事例ともなっていて、新学習指導要領の方向に合致しているとまとめられました。

2) 最後に登場した加藤一誠(慶應義塾大学商学部教授)先生は、「人口減少と生産」のタイトルで、新学習指導要領での中学校での経済授業の例を紹介されました。

これは、人口グラフから経済成長と人口の関係を読み解き、所得の循環図を読み解くなかで、生産と生産性の関係を理解させ、生産や消費という個人の行為とGDPというマクロの指標の関係に気づかせ、経済の現状とその処方箋の違いを理解させるという流れの授業です。

経済をストーリーとしてとらえることで、抽象的で理解が難しいとされている経済の授業がより深く理解できるのではないかと提案されました。

#### 4) パネルディスカッション

以上の問題提起を踏まえて、パネルディスカッションが行われました。

ディスカッションでは、AL(アクティブ・ラーニング)と教科書の関係、兼間先生が提案した授業案のなかのガソリンスタンドの順番の教材の問題点やその取り組ませ方、合意形成についての疑問や批判、新学習指導要領の読み方の問題などが話し合われました。

### (3) 第二部 高等学校における金融の教え方

1) 基調講演「新しい金融の考え方と教え方」が鹿野嘉昭先生(同志社大学経済学部教授)からありました。

鹿野先生は、事前に二人の先生からうけとった質問に絞って行うとして、情報化は金融取引にどのような影響を及ぼしたのか、貨幣に変わって資金決済の効率化を促す電子的な価値移転の仕組みはどのようにして導入され普及したのか、仮想通貨などはどのような経緯で登場したのかの三つのトピックを話されました。

2) 鹿野先生の講演をうけ、山本雅康先生(奈良学園中学・高校)、大塚雅之先生(大阪府立三国丘高校)からの感想と質問がありました。

山本先生からは、直接金融や間接金融という概念の扱い方、グローバル化とナショナリズムの関係、これから金融に関してどのような教え方が必要かを聞かせて欲しいという要望がだされました。

大塚先生からは、現実に行進する金融環境の変化とのギャップをどう埋めるか、日銀と政府の関係やマイナス金利の行方など現在の金融政策について知りたいとの要望がだされました。

鹿野先生からは、すべてに答えることができないが、貨幣と金融の話は別々に扱うべきであること、金融理解にはマクロの金融循環が大事であること、金融は、現在と明日の取引であり、リスクが伴う。そのリスクの負担料で金融機関は生きているから誰がリスク負担をとっているのかという意味で間接金融、直接金融という概念は大事であり、基本は変わっていないと回答されました。

3) これらの議論をうけて、フロアーからの質疑が行われ、起業する際の必要な資金の調達法、クラウドファンディングの学校での取り組ませ方、生徒や学生の金融に関への関心、教員の金融リテラシーの問題などが話されました。

最後に、西村理先生(同志社大学名誉教授)の挨拶で、年次大会を終了しました。

なお、年次大会の詳細は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/activity/symposium/201803symposium%20report.pdf>

---

## 【 2 】イベントカレンダー

---

\* イベント予定です。(開催順)

■ 先生のための夏の経済教室の日程・会場、内容の概略が決まりました(既報)

先生のための夏の経済教室の日程と会場は以下の通りです。

8月2日(木) 名古屋中学教員向け 会場:ウインクあいち

8月3日(金) 名古屋高校教員向け 会場:ウインクあいち  
8月6日(月) 大阪高校教員向け 会場:国民会館  
8月7日(火) 大阪中学教員向け 会場:国民会館  
8月9日(木) 東京高校教員向け① 会場:東証ホール  
8月10日(金) 東京高校教員向け② 会場:東証ホール  
8月16日(木) 東京中学教員向け① 会場:東証ホール  
8月17日(金) 東京中学教員向け② 会場:東証ホール  
内容の詳細は検討中です。決まり次第、HPに掲載いたします。

\* 定例部会のお知らせです。(開催順)

■東京部会(No.99)を開催します。

日時:2018年4月26日(木) 19:00~21:30

場所:慶應義塾大学三田キャンパス研究棟 446 会議室

申し込みの詳細は以下をご覧ください。

[www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo099flyer.pdf](http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo099flyer.pdf)

■大阪部会(No.58)を開催します。

日時:2018年4月28日(土) 18時00分~20時00分

場所:同志社大学 大阪サテライト(予定)

申し込みの詳細は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka58flyer.pdf>

■札幌部会(No.19)を開催します

日時:2018年5月19日(土) 14時30分~17時00分

場所:キャリアバンク セミナールーム

申し込みの詳細は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo019flyer.pdf>

---

### 【 3 】授業のヒント

---

■思考実験のすすめ

思考実験という言葉は、新学習指導要領の高校新科目「公共」の「公共的な空間における基本原理」の箇所が登場します。それだけに注目すると、このタイトルはいかにも新学習指導要領に即したもののようには見えますが、今回すすめるのは簡単なことで、あたまのなかで立場や視角を変えて考えてみようということです。

### (1) 思考実験って何？

新学習指導要領では、多角的・多面的に考えるという言葉が頻出します。では多角的に考えたり、多面的に考えたりするにはどうすればよいか。立場や視角を変えて物事を見てみるということになります。そのうち、頭のなかで立場や視角を変えて考えるのが思考実験になります。それに対して、実際に立場を変えて動いてみるというのがロールプレイ、一つのモデルから数値例を変えて計算したり結果を予測するのがシミュレーションであると大きく理解しておけば良いでしょう。

### (2) どんな事例を想定しているか

この思考実験という概念をはじめて登場させたのは 19 世紀オーストリアの科学者であり哲学者でもあるエルンスト・マッハという人物です。そんなあまり一般には知られていない、すくなくとも高校「倫理」の教科書に掲載されていない哲学者の使う用語が学習指導要領の本文に登場してきたというわけです。ちょっと困った事態ですが、その背景を探るよりも具体的な事例は何なのかを探る方が生産的です。

では、どんな思考実験の事例があるか。おそらく一番古い思考実験は「アキレスと亀」の話かもしれません。最近では、サンデルの本で有名になった「トロッコ問題」あたりだろうと思われます。ロールズの「無知のベール」もその例といえるでしょう。学習指導要領の作成者の意識としては、「囚人のディレンマ」、「共有地の悲劇」なども例として入れているかもしれません。さらに、「アフーマティブ・アクション（性別や人種などの格差解消のための積極行動主義）」なども思考実験の事例として頭のなかには想定されているかもしれません。

### (3) おすすめの本とコラム

最後の「アフーマティブ・アクション」に関連して、最近、面白い本を入手しました。『女性の視点でつくる社会科授業』学文社、という本です。ネットワークメンバーの升野伸子先生（筑波大学附属中学）が編著者の一人で、同じく埴枝里子先生（都立府中東高校）も著者に入っている本です。

この本の中のコラムにHKTの「アインシュタインよりディアナ・アクロン」という秋元康作詞の歌が取り上げられていました。

この歌のなかの、「女の子はかわいくなきゃね」という歌詞を逆にしてみようと生徒にしかけてゆくのは、コラムの著者升野先生です。

これって、学習指導要領の言う多角的・多面的に物事を見るという格好の事例であり、かつ、女性と男性の役割をかえて頭のなかで考えてみるという思考実験そのものを授業のなかで展開している例といえるでしょう。

(4) 思考実験から現実へ

コラムのなかでは、「男の子はかわいくなきゃね」という逆転から、「何か変」という思いをいだかせ、さらにそこからジェンダー問題を引き出し、その克服を提案させるという授業の流れが紹介されていました。頭のなかの思考実験から現実の課題解決の構想をもとめるというなか面白い授業です。

同じような思考実験から現実を考える事例は、政治学習でも、経済学習でも可能です。

その際には、頭のなかの演繹的な操作で出てきた知見を、現実問題とすりあわせてもう一度リアルな風を授業へいかに持ち込むのかが課題になります。でも、そこまできちんとした授業設計がなくとも、とにかく立場を逆転させて考えてみるという程度でよいから、思考実験をどんどん取り入れることによって教室の空気がながれが変わればしめたものです。 (新井)

---

【 4 】編集後記(みみずのたはこと)

---

今回『女性の視点でつくる社会科授業』という本を紹介しました。これに対抗して『男性の視点でつくる社会科の授業』という本をつくるとすると、どんな内容になるか、ちょっと思考実験を試してみたくなりました。きっと売れないだろうな。

(新井)

---

=====  
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページより  
お手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>



---

編集・発行 : 経済教育ネットワーク

----- (C) Network for Economic Education ◆◇